

Non-Judgmental Way of Thinking レッテルのない世界



奇跡の詩人、日木流奈くん、11歳（NHK スペシャル
4/28/2002）

私は、混沌の中にいました。

この混沌が、秩序あるものに変化していくのを、私は体で感じることができました。私がまだ肉体的に混沌の状態でありながら、精神的には、混沌の中に残らずにすんでいるのは、私が言葉を伝えるすべを得たからです。

私は条件をつけずに愛されました。

このまんまの私を受け入れてもらえました。脳障害であることは、大変ではあるけれど、

私の存在を否定する材料にはなりませんでした。

それ以後も、誰かと比較されたこともなく、テストされたこともなく、
きのうの自分よりあしたの自分が優秀になっていればいいという思想のもと、育てられました

山本太一郎さんの生き方が変わった

Q: 何に囚われているのだろう？

- こうすべきってこと、男だからとか、課長だからとか、パパだからとか、いっぱい、自分がやらなくてはとおもっているのでは、それってね、自分がおもっているほど周りには必要としていないのよ。
- 体でネ、肺は肺、心臓は心臓の働きするでしょう。どうしてそれ以上の働きしようとするの。

Q: このままいくと、ボクは今の職場でいらなくなるのがこわくなる。

- いらなくなるって、いいことよ。自分の価値だけに心をむけられるから、自分が幸せな状態になることを考えるだけでいいの。世の中はあなたが幸せじゃないと、幸せになれないの。



☆ 流奈くんよりのメッセージ ☆

私は、心地よく生きたいと、いつも思っています。

そして、私の周りの人もそうであったら、私はもっと気持ちよくなります。

そして、私が知っている世界の人々もそうであったら、私はもっと幸せな気持ちになります。

ただそれだけなのです

私の人生は、とても豊かで希望に満ちています。

もし世の中の人たちが、世間一般とか常識にとらわれずに、物事を見ることができたら、ステキなことが起きるのだと伝えられたらいいと、私は思っています。

どこにいても、自分の思いがどこにあるのかを問うて生きたとき、どこにいても、だれといて

も、心が平安になると伝えたいのです。そのサンプルとして、私の存在を知って頂けたら
うれしく思います。